

津市の保育士確保施策の整理



1.保育人材不足の問題に係る課題の整理

資料5-1

保育人材不足の問題は、様々な課題によって生じているものと考えております。
そこで、対処すべき課題を以下のように整理をし、取り組むべき施策のカテゴリーとして「採用活動・復帰支援」、「職場環境向上」、「魅力発信」の3つに分けました。



カテゴリー	課題
採用活動・復帰支援	➤ 保育士採用情報が周知されていない ➤ 各保育所の職場の魅力が伝わりきっていない ➤ ブランクのある潜在保育士が職場復帰に不安を持っている
保育環境の向上	➤ 新卒保育士が離職しやすい ➤ 保育業務以外の業務(事務等)も含め、保育士1人の負担が大きい
保育士の魅力発信	➤ 養成校の入学者が減少し、新卒保育人材が不足している

2-1.津市の保育士確保施策(採用活動・復帰支援)

資料5-2

<課題>

- 保育士採用情報が周知されていない
- 各保育所の職場の魅力が伝わりきっていない
- ブランクのある潜在保育士が職場復帰に不安を持っている

津市の取組① 保育のおしごと相談会

【目的】

ブランクのある潜在保育士の不安解消

【実施内容】

相談会を開催し、個別面談を行いながら保育施設への就労に繋げていく。

※令和7年度については、10月23日(木)開催予定

【実績】

【令和元年～令和6年の延べ実績】

参加者数94名、採用数48名(私立6名、公立42名)

現在までに15回開催

津市の取組② 保育のおしごとフェア(計画中)

【目的】

給与や福利厚生等の情報だけでなく、保育の特色や理念、職場の雰囲気等の情報発信をする場を設け、保育士雇用に繋げる

【実施内容】

養成校の学生、保育士、看護師、調理師を対象に、養成校と連携しながらブース等を出展し、相談会を実施

【予定】

令和8年2月22日(日)開催予定

2-2.津市の保育士確保施策(保育環境の向上)

資料5-3

<課題>

- 新卒保育士が離職しやすい
- 保育業務以外の業務(事務等)も含め、保育士1人の負担が大きい

津市の取組③

津市保育士・幼稚園教諭等就労開始応援事業

【目的】

私立法人の保育士・幼稚園教諭等の確保と定着の推進

【実施内容】

市内の民間保育所・認定こども園・幼稚園へ4月1日付で新規採用された保育士・幼稚園教諭等へ「就職準備金」として10万円、2年目就労開始時に「就労継続支援金」として10万円をそれぞれ支給する。

【実績】

令和6年度対象者:1年目 63名
令和7年度対象者:1年目 38名 / 2年目 54名

津市の取組④

津市保育体制強化事業

【目的】

保育士の負担軽減による職場環境の向上

【実施内容】

保育士資格を有しない多様な人材を保育周辺業務に活用し、保育支援者として配置する費用を1施設あたり月額10万円を上限に補助する。保育支援者の配置を推進させ、保育士の負担軽減を図る。

【直近実績】

令和6年度:24施設
(執行額:23,503,000円)

<課題>

- 養成校の入学者が減少し、新卒保育人材が不足している

津市の取組⑤ 魅力発見！バスツアー

【取組の背景・目的】

将来の養成校の入学者、保育人材確保に繋げるため、中高生を対象として、将来の進路として保育士という仕事を実際に選んでもらえるよう、その魅力を伝えていく。

(※課題の背景として、「将来の夢」として保育士の人気は高いが、進路選択の段階で周囲の反対や報道で保育士へのマイナスイメージを抱き、養成校への進学を断念している生徒が多い)

【実施内容・実績】

8月20日(水)、8月26日(火)の2回開催(参加者計24名)

当日の様子について、(津市動画チャンネル)で動画を公開しています。

(URL)<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/movie/index.html#player>

